

DXで競争力を飛躍的に高め、 持続的かつ安定的な収益基盤を確立します

JFEグループを取り巻く経営環境は、中核事業である鉄鋼事業を中心に、構造的な変化の只中にあります。加えて、今年度は新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行の影響により、国内外の経済活動が急速に減速し、JFEグループはこれまでに経験したことのない極めて厳しい状況に直面しています。

事業環境の変化が加速する中で、収益力を再構築し、持続的な企業価値の向上を図るために、JFEグループはデータとデジタル技術の活用に積極的に取り組んでいます。DX（デジタルトランスフォーメーション）を重要な戦略として位置付け、お客様にとっての製品やサービスの価値を高め、バリューチェーンのあらゆる領域で生産性を飛躍的に向上させる取り組みを進めています。今後も、プロセス技術の革新的なイノベーションやビジネスモデルの刷新も視野に入れて、グループ一丸となってDXを推進していきます。

他方、経営のデジタル化が進む中で、情報セキュリティの重要性がますます高まっています。高度化・複雑化するサイバー攻撃や情報漏洩リスクからお客様や取引先様および従業員の個人情報等を保護し、企業の競争力の源泉である情報資産を守ることは、あらゆる企業にとって重要な経営課題と言えます。JFEグループは、情報セキュリティの一層の強化に向けて、セキュリティガバナンスを統括し有事対応も担う組織として「JFE-SIRT」[※]を設置するなど、迅速かつ網羅的なリスク対策を展開しています。

こうしたJFEグループのデジタル領域での「攻めと守り」の活動を幅広く発信していくことを目的に、今年度より、本誌を従来の「ITレポート」から「DXレポート」と名称を変更し、内容の充実を図ることといたしました。

JFEグループのDX戦略については、既に統合報告書にて紹介しておりますが、本レポートでは、DX戦略に基づいた各事業会社の代表的事例をより具体的な内容と成果として掲載しております。本レポートが皆様にとって有益な情報のご提供となり、JFEグループのDX施策に対するご理解を深めていただく一助になれば幸いです。

[※] JFE-SIRT JFE Security Integration and Response Team



JFEホールディングス株式会社
専務執行役員

藤原 弘之